

クリスマス ふれあいコンサート



と き：平成29年12月9日（土）
午後1時30分～3時30分
[午後1時開場]

ところ：渋川小学校 体育館



第1部：混声合唱団 草津カンタービレ

第2部：

1. もろびとこそりて
2. サンタが町にやってくる
3. お祭りマンボ
4. 一本の鉛筆
5. ハバネラ～恋は野の鳥
6. サッカーによせて
7. 思い出がいつぱい

1. サイハテ
2. やってみ
3. 明日も
4. 津軽海峡
5. Xmas Swi

混声合唱団 草津カンタービレ

結成10年目のまだ小学生でいえば4年生くらいの合唱団です。合唱が好きで、地域の皆様とご一緒に歌うのが好きな私たちは、福祉施設等へも訪問し、歌う楽しみを共に味わっています。今日は、第1部に合唱曲と声楽ソロ演奏を、第3部に一緒に歌うひとときを会場の皆様と楽しみたいと思います。大きな声で歌いましょう！
いつも団員募集中です！！

草津

こんにちは、私
人の合計49人
「音に命を吹き
スローガンに毎
精一杯演奏しま



草津中学校吹奏楽部



第3部：みんなで歌おう



1. 上を向いて歩こう
2. 365日の紙飛行機
3. さんぽ
4. 翼をください
5. 君といつまでも
6. 琵琶湖周航の歌

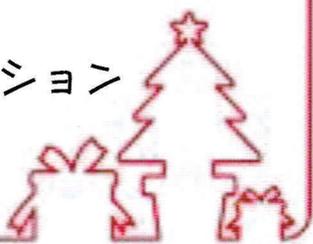


アイニ
よう



冬景色

ngin' コレクション



中学校吹奏楽部

たちは現在1年生28人、2年生21人で毎日元気に活動しています。『はらむ〜踊りだすような音楽を〜』を毎日楽しく元気に活動しています。ですので、最後まで楽しんでください。

混声合唱団草津カンタービレと草津中学校吹奏楽部の共同演奏にのって、次のページの歌詞カードを見ながら、会場全員と一緒に歌いましょう。



第3部 <歌詞>

会場の皆さんも一緒に歌いましょう！

① 上を向いて歩こう

上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
思い出す春の日 一人ぼっちの夜

上を向いて歩こう にじんだ星をかぞえて
思い出す夏の日 一人ぼっちの夜

幸せは雲の上に 幸せは空の上に
上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
泣きながら歩く 一人ぼっちの夜

「口笛」……………

思い出す秋の日 一人ぼっちの夜

悲しみは星のかげに 悲しみは月のかげに

上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
泣きながら歩く 一人ぼっちの夜
一人ぼっちの夜

② 365日の紙飛行機

朝の空を見上げて 今日という一日が
笑顔でいられるように そっとお願いした
時には雨も降って 涙も溢れるけど
思い通りにならない日は 明日 頑張ろう
ずっと見てる夢は 私がもう一人いて
やりたいこと 好きなように 自由にできる夢

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り ただ進むだけ
その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番大切なんだ さあ 心のままに 365日

飛んで行け！飛んでみよう！
飛んで行け！飛んでみよう！

③ さんぽ

1あるこう あるこう わたしはげんき
あるくの だいすき どんどんいこう
さかみち トンネル くさっぱら
いっぽんばしに でこぼこじゃりみち
くものす ぐぐって くだりみち

2あるこう あるこう わたしはげんき
あるくの だいすき どんどんいこう
みつばち ぶんぶん はなばたけ
ひなたにとかげ へびはひるね
ばったがとんで まがりみち

3あるこう あるこう わたしはげんき
あるくの だいすき どんどんいこう
きつねも たぬきも でておいで
たんけんしょう はやしのおくまで
ともだちたくさん うれしいな
ともだちたくさん うれしいな

④ 翼をください

1今 私の 願い事が かなうならば 翼が欲しい
この 背中に 鳥のように 白い翼 つけてください

この大空に 翼を広げ 飛んでゆきたいよ
悲しみのない 自由な空へ 翼はためかせ ゆきたい

2今 富とか名誉ならば いらないけど 翼が欲しい
子どものとき 夢見たこと 今も同じ夢に見ている

この大空に 翼を広げ 飛んでゆきたいよ
悲しみのない 自由な空へ 翼はためかせ ゆきたい

⑤ 君といつまでも

二人を夕闇が 包むこの窓辺に
明日も素晴らしい 幸せが来るだろう
君の瞳は星と輝き 恋するこの胸は 炎と燃えている
大空染めて行く 夕陽色あせても
二人の心は 変わらないいつまでも

「幸せだなあ 僕は君といる時が 一番幸せなんだ
僕は死ぬまで 君を離さないぞ いいだろう？」

君はそよ風に 髪をとかせて
優しくこの僕の しとねにしておくれ
今宵も日が暮れて 時は去りゆくとも
二人の思いは 変わらないいつまでも

⑥ 琵琶湖周航の歌

1我は湖(ウミ)の子 放浪(サスライ)の
旅にしあれば しみじみと
昇るさ霧や さざなみの
滋賀の都よ いざさらば

2松は緑に 砂白き
雄松(オマツ)が里(サト)の 乙女子は
赤い椿の 森蔭に
はかない恋に 泣くとかや

3波のまにまに 漂えば
赤い泊火(トマリビ) 懐しみ
行方(ユクエ)定めぬ 波枕
今日は今津か 長浜か

